

はんのうし ほん 飯能市 の本もあるよ！

『入間川再発見！』★★★

埼玉県西部地域博物館入間川展合同企画協議会

2004年(H40イ)

飯能河原のことをより詳しく知りたい方は、ぜひこの本を読んでみてください。源流から山間地をぬけ、飯能市内を流れていく入間川について、人々の暮らしや川にすむ生き物、筏流しの歴史など多方面から紹介しています。入間川の魅力を再発見できます。

『知って楽しい！エコツーリズムのまち

飯能 天覧山・飯能河原』★★

飯能市エコツーリズム市民ガイドの会

「エコツーリズムのまち飯能」編集会議 2018年 (H68ハ)

OPACって知っていますか？

図書館には、本をさがすことができる機械「OPAC」があります。

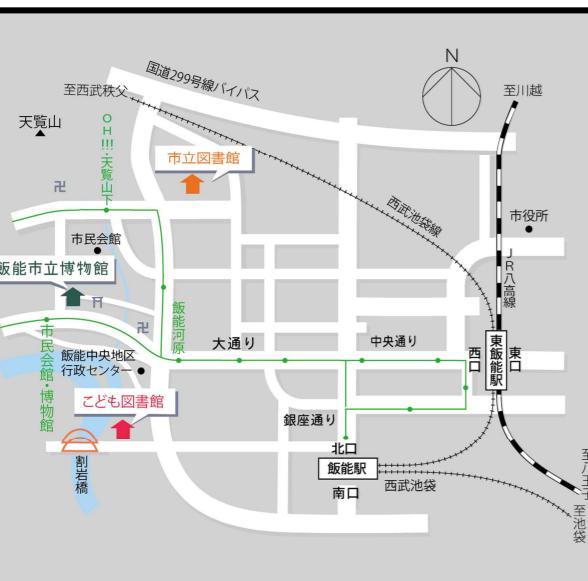
本の名前や、知りたい言葉をいれると、図書館にある本の中からぴったりの本をさがしてくれます。



こども図書館には図鑑やたくさんの本があります。

知りたい、調べたいと思ったときは、

ぜひ、こども図書館や博物館にきてください。



こども図書館へ行こう！

◎川について調べる



『川のカエルと生きものたち』★ 松橋利光/写真・文 アリス館 2010年 (H48/マ)

さかなや、虫、とりなど、川にくらす生きものたちを写真で紹介している本です。なかでも、とくにカジカガエルについてくわしくかかれています。なき声や、オタマジャクシからカエルになるまでなど、カジカガエルの一年がわかります。



『かわはいきている』★ 内山りゅう/写真 上野与志/文 チャイルド本社 2010年 (HEカ)

山でうまれた小さな川は、だんだんと大きくなって、やがて海へとながれこみます。川のようすや、川にくらすさかなや生きものたちをとった写真絵本です。

『かわ』★ 加古里子 福音館書店 2008年 (Eカ)

『小学館の図鑑NEO鳥』★ 上田恵介/監修 小学館 2002年 (48ト)

『日本どんぐり大図鑑』★ 徳永桂子 北岡明彦/解説 偕成社 2004年 (47ト)

『かっぱ印 川あそびブック』★★ 阿倍夏丸 ブロンズ新社 2003年 (H48カ)

『楽しく学ぶ川の学校5』★★ 柴田敬隆 学研 2002年 (H45タ)

『埼玉いきもの図鑑』★★★ 葛生淳一/解説 前田信二/写真 メイツ出版 2016年 (X46ク)

『水べの生きもの野外観察ずかん2』★★★ 武田正倫/監修 ポプラ社 2003年 (H46ミ)

『水辺の自然・遊んで学ぼう実験・体験・発見！3』★★★ 武田正倫/監修 学研 2004年 (H48ミ)

◎石について調べる



『生きものとつながる石ころ探検』★ 盛口満/文・絵 2018年 少年写真新聞社 (45モ)

いろいろな石ころや、生きものや人とかわりのある石ころをイラストで紹介しています。

学校や家の中にも石ころはあります。石を利用して生きている虫もいます。

いろいろな視点で石ころをることができます。

『石ころ地球のかけら』★桂 雄三/文 平野恵理子/絵 福音館書店 2018年 (45カ)

『こどもが探せる川原や海辺のきれいな石の図鑑』★★ 柴山元彦 井上ミノル 創元社 2018年 (45シ)

『集めて調べる川原の石ころ』★★★ 渡辺一夫 誠文堂新光社 2010年 (H45ワ)

ここで紹介した本はすべてこども図書館でよめます。()の中は図書館の本の背ラベルにかかれている番号です。★の数は対象年齢です。★→1、2年生 ★→3、4年生 ★→5、6年生

飯能河原



飯能市立博物館きっとす

午前9時～午後5時開館

お休み・月曜日

祝日(ただしこの日が休日の場合は開館)

年末年始

※この他、臨時で休館することがあります。

入場料 無料

〒357-0063 飯能市大字飯能258-1

TEL:042-972-1414 FAX:042-972-1431

E-mail:museum@city.hanno.lg.jp

飯能市立こども図書館

午前9時～午後5時開館

お休み・月曜日

祝日(祝日の場合は開館)

年末年始、特別整理期間

〒357-0037 飯能市稻荷町25-8

TEL:042-974-2414 FAX:042-974-2997

E-mail:tosyokan@city.hanno.lg.jp

飯能河原探険MAP



飯能河原について

入間川は、秩父の大持山に源があり、飯能河原を通って荒川へと流れています。飯能河原の辺りは、ちょうど川幅が広がりゆるやかな流れとなっています。昔は材木を運ぶため、上流から流した筏を飯能河原でつなぎ合わせ下流に流していました。水辺には季節ごとに鳥が訪れ、川原では上流から流れてきた山をつくる岩石を観察することができます。